

ほっかいっぱいみさきっ子

御前崎市立御前崎小学校 学校だより 令和4年度 10月

11月にほかほか遠足を実施させていただきます（ごめんなさい、お弁当の日が増えます）

御前崎小学校ではこれまで長い間、潮干狩り遠足を行ってきました。しかし、日にちの設定が潮見表に左右される上に、運動会前の6年生の子どもたちは、目が回るほど忙しくなってしまう、この行事で育てたいものがぼやけてしまうことが大きな課題でした。

3年前、コロナ禍と学校行事の見直しの中で、潮干狩り遠足は終止符を打つことを決断しました。社会教育の充実により、潮干狩りなど御前崎の自然を体験できる機会が増えたことも決断の下支えでした。

その代わり「ほかほか班の仲間づくり」や「6年生のリーダー性を育てる」ことをねらいとし、2学期にほかほか遠足を設定したのです。マリンパークまではいくつかのチェックポイントをめぐり、定められたミッションをクリアしながら進みます。ほかほかほっかめ委員会は全体計画を作成し、6年生はウォークラリーのルートや遊びを決めるなど、それぞれに準備を進めてくれていました。

残念ながら、予備日も冷たい雨で行けなくなってしまったほかほか遠足。ほかほかほっかめ委員と一緒に対応を考え、来月、実施日を再度設定することにしました。



昨年度の写真です



お弁当おいしい！

そうすると、おうちの方にはあと2回、お弁当を作っていたく必要があるのです。

昨年度、子どもたちの感想からは、6年生への感謝はもちろん、「5年生が支えてくれた」「4年生はみんなを明るくしてくれた」など、異学年行事ならではのそれぞれの成長が感じられました。御小の子どもたちのさらなる成長の機会として、この行事を実施できるよう、ご協力をお願いします。

2学期は授業の充実期です

9月末の、御前崎市スクラムゼミナールでは、市内から多くの教員が御前崎小の授業を参観して下さり、子どもたちの姿をほめていただきました。私たち職員も大学教授から、今後の授業づくりの助言をいただきました。校内では、子ども授業参観も行われています。

右の感想は、6年生の授業を見せてもらった4年生が書いたものです。4年生は、今度は6年生に自分たちの授業を見てもらうんだとはりきっています。

感想にもあるとおり、4年生は6年生のほぼ全員の名前を知っています。また、御前崎小の子どもたちは、他学年の子たちと距離が近いと感じます。長く続いてきた、「ほっかり」と「ほかほか活動」の成果はこんなところにも表れています。

六年生の授業ですごく良かったところがたくさんあります。一つ目はさえさんの発表です。さえさんは、発表のしかた、みんなにわかるように発表をしていたところがすごいなと思いました。二つ目は、六年生の反応です。六年生のみんなは、反応名人になれていた気がしました。

（後略）
四年一組小川ひゆうま

（3年生からほっかりミニレターをもらってうれしかった校長 仁平美和子）

